伝統の守り手たち

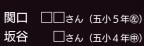
発表会で舞を披露した子ども番楽教室の皆さ んに、感想などを聞きました。



佐藤 🔲 🗆 さん (五小5年巻) 畠山□□□□さん(五小6年⊕)

畠山 □□□さん (五小5年億)

町の伝統の番楽は、継承する人がだんだん少 なくなってきています。僕は番楽が好きでもっ とうまくなりたいと思っているので、これから も練習を頑張ります(畠山□□さん)。



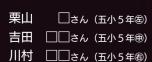
鈴木 □□さん (五小5年街)

番楽教室では、みんなと一緒に練習をするの で楽しいです。本番はあまりうまくできません でしたが、お客さんが見てる前で番楽を踊るの は楽しかったです(関口□□さん)。



笹嶋 □□□さん (五小5年年) 猿田 □□さん (五小5年⊕) 中嶋□□□□さん (五小5年旬)

3年生の時に、番楽の踊りをやってみたら かっこいいと思ったので始めました。教室の先 生たちは優しく教えてくれて、みんなと一緒に 踊るのは楽しいです(猿田□□さん)。



本番はお客さんが見ていたので緊張しました が、3人の動きを合わせることを意識して、練 習どおりうまく踊ることができました。これか らも頑張りたいです(川村□□さん)。



五穀豊穣を祈る「山の神」。曲芸的な動きが お囃子や拍子に合わせて舞が進行 特徴の舞です。 します。





踊る場所、舞い手、囃子手、観客など、すべてをはらい清める意味が込められた「露払」。今回の発表会や例年の番楽競演会でも、最初に披露される演目となっています。



曽我十郎・五郎兄弟の戦いぶりを表現した「曽我兄弟」。刀が激しくぶつかり合うことから、「剣舞」とも呼ばれています。



「露払」は、途中でボンボリから扇に持ち替えながら舞います。





次々と繰り広げられるダイナミックな 舞が観客を魅了します。



